

心の根っこ



7月吉日

発行者 校長 柴田和美

1学期、ご協力ありがとうございました。



あと数日で、1学期が終了いたします。1学期間、保護者の方々をはじめ、家庭、地域の皆様に支えていただきました。心より感謝しております。本当にありがとうございました。

この1学期、新しい担任のもと、どの学年も様々なことにチャレンジしてくれました。6年生は、「学校会議」を新設するなど、「自分たちの学校を自分たちでつくる」という思いで頑張ってくれており、頼もしく感じています。日常生活を送る中で問題もありましたが、その問題を乗り越えようと頑張ることで成長もあったと感じております。どの子どももよく頑張りました。お家の方でも、1学期間のお子様のがんばりを見つけ、ほめてあげてください。

20日から夏休みに入ります。夏休み中の子ども達の生活管理の方、よろしく願い致します。この夏休みが子どもたち一人一人にとって、充実した時間となることを祈っております。1学期間、本当にありがとうございました。

夏季休業中のお願い

夏休みの主な予定

☆緊急のことがありましたら、コドモンか電話にて学校に連絡ください。8月10日(土)から18日(日)は学校閉庁日となります。この期間の緊急連絡はコドモンにてお願い致します。折り返し連絡させて頂く場合もありますので、必ず携帯電話番号も記入くださいますようお願い致します。閉庁日以外は、学校への電話もつながります。ただし、16時30分以降明朝8時30分までは、留守電話に切り替わります。ご了承ください。

☆夏休み中は、図書室を開放致します。開放日は夏休み用に作成した予定表を確認下さい。図書室に来る場合は、熱中症防止のため、大変申し訳ありませんが、必ず車での送迎をお願いいたします。

☆自転車での事故等、安全管理についても、声かけをお願いします。暑いですが、自転車に乗る時は、ヘルメットを必ず着用させてください。「1,2年生は、子どもだけでは自転車は乗れない」というきまりになっています。この点につきましても、守るよう声かけください。

☆グラウンドに遊びに来る際は、熱中症予防のため、日中の暑い時間は避けるよう、お子様に声を掛けてあげてください。本来なら、自由に遊ばせてあげたいのですが、気温等、心配な環境をご理解いただき、何卒、ご協力いただきますようお願い致します。可能であれば、大人が付き添っていただけるとありがたいです。

☆夏休み中のゲームのやりすぎによる弊害が多数報告されています。ゲーム漬けとならないよう、生活管理をお願い致します。

夏休み中、気になることがありましたら、遠慮なく学校に連絡下さい。

月	日	曜日	内 容
7	26	金	オンデマンド登校日①(5年・6-2)
	29	月	オンデマンド登校日①(上記以外)
8	9	金	オンデマンド登校日②(全学年)
7	30	火	小松市水泳記録会(末広プール:午前)
7	31	水	学校評議委員会(19:00~)
8	10~ 18	土 日	学校閉庁日
8	26 27	月 火	ウォームアップ登校日
8	28	水	PTA 常任委員会 19:00~
9	2	月	2学期始業式

未来の成長につながる通知表に！

通知表は全ての教科を3つの観点で評価しています。そして、それぞれの観点ごとに、A、B、Cの3段階で評価しました。ただし、1年生の1学期だけは、B、Cの2段階評価となっています。Bの中にABが含まれていると判断してください。

ABC評価の意味は、以下の通りです。

A・・・十分満足できる B・・・おおむね満足できる C・・・目標までもう少し



また、3つの観点は以下の通りです。

① 知識・技能

学年に応じた学習内容を理解しているか、できるようになったか。

② 思考・判断・表現

問題を解決するために、理解していること、できることを、必要に応じてつかえるか。

③ 主体的に学習に取り組む態度

目標達成に向けて、粘り強く取り組もうとしているか。また、その中で、自分で自身の学習状況を把握し、自分がよりよくなるために自らの学習を調整しようとしているか。

ABC評価においては、国が求めている学年の目標にほぼ到達している場合は、B評価であると判断してください。

B評価があれば、目標を達成するために努力した証であると捉えて、まずは、頑張ったことをほめてあげてください。

A評価は、「十分満足」ということで、大変優秀な学習ぶりであったということです。ですから、

A評価がある場合は、とても努力したという証です。まず、何よりその努力をほめてあげてください。お家の方の言葉は、子どもにとってとても大きな励みとなりますので、A、B評価ともどうかたくさん「プラスの言葉かけ」をお願い致します。

C評価は、そこは苦手だったため、目標の達成にはもう少しだったという意味となります。決して努力しなかったという意味ではありません。ですから、頭から叱るというのではなく、なぜC評価となったと思うか、お子さんと話し合ってみてください。その中で、見えてきた課題を2学期は解決できるように、この夏休みをどう過ごせばいいのか、どこをどう勉強すればいいのか、一緒に考えてあげていただけたらありがたいです。もし、一緒に話し合う中で、「解決に向けての勉強の仕方がわからない」など、担任等に尋ねたいことがあれば、遠慮なく学校に連絡ください。

学校としましても、2学期にさらに習熟が進み、楽しくわかりやすい授業ができるよう、夏休みは、教職員全員で授業研究、授業準備に取り組む所存です。

通知表は、単なる評価のために存在しているのではなく、**子どもの未来の成長のためにあるもの**だと思います。この通知表があることで、子ども一人一人が、「2学期は、1学期以上にがんばろう!」「夏休み、頑張ってみよう!」と思ってくれることを願っています。お家の方の言葉かけの力は大きいといえます。どうか、次の成長につなげる対応、言葉かけをお願い致します。



スマートフォン等の使用状況調査へのご協力ありがとうございました。

先日、スマートフォンについてのアンケートを実施しました。ご協力ありがとうございました。その中で、今回は、「LINE等、SNSでの友達とのやり取り」を中心に考えてみたいと思います。

保護者や児童自身のスマホを使い、友達とLINE等でやり取りしている児童の割合は、約3割でした。学年別で見ますと、以下のようになりました。学年が上がるにつれ、割合が高くなっています。また、男女別で見ますと、約85%が女子という状況でした。

(7月15日回収分)

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
人数	0人	1人	4人	14人	12人	24人	55人
割合	0%	3%	17%	31%	44%	50%	26%

日本全体において、このLINE等のやり取りにより、子ども達の人間関係が気まづくなったり、いじめが起こったりということが多く発生しています。小松市や本校においても危惧しているところです。

スマホは、ハサミや包丁と似ていると聞いたことがあります。使い方ひとつで、生活を豊かにするとともに便利な道具にもなるし、人を傷つけてしまう怖い道具にもなるという理由からかと思われます。

お子様が初めてハサミや包丁を使う時は、どのようにして教えたらいいか……。

ハサミや包丁は、危険なものですので、やはり、はじめは必ず保護者がそばにいて、使い方を丁寧に教え、少しずつ任せていくという方法をとられるのではないかと思います。であるのなら、スマホも同じように指導しないとイケないのではないかと考えます。LINEを始めた場合は、しばらくはどのようなやり取りをしているのか確認する。そして、しばらくやり取りを確認し、指導する。その後、少しずつ時間をあけたとしても、定期的に確認し、気になることがあれば、親子で話し合ってみるなどの時期を経て、子どもはやっと正しい使い方がわかっていくのではないのでしょうか。

フィルターがかかっているといっても、このLINE等のやり取りの内容についてのフィルターはないので、ほとんど無防備な状態だと思われます。LINE等については、フィルターがかかっているから安心というわけではないと考え、注意していただけたら幸いです。

もしかしたら、「子どもには子ども世界がある、プライバシーがあるので、本人に任せている」という考えもあるかもしれません。その考えも頷けます。しかし、何かあってからでは遅いともいえます。先日、警察の方にもお話を伺いましたが、様々な地区でかなり大きな問題が起きているということでした。ですので、保護者の方で、任せて大丈夫なのかを見取った上で、任せていくようにお願いします。

あと数日で夏休みに入ります。夏休みに入ると、このLINE等のやり取りが増えることが予想されます。ぜひ、親子で、「LINE等のやりとり」や「ゲームのし過ぎ」等について話し合っただけでいいと思います。そして、話し合ったら終わりではなく、約束がきちんと守られているかの定期的な見取りもお願いいたします。

学校においても、メールをする際の留意点やゲームやネットの危険について、今後も指導していくつもりであります。この件に関しては、学校、家庭、地域が協力して対応することが必要かと思っておりますので、何卒、ご協力いただきますようお願い申し上げます。



楽しかった1学期!

成長できた1学期!

